

滝田羽生地区地区（富加町）

【地域の概要】

- 富加町は県中南部に位置し、16.82km²の町域の約半分を山林が占め、農地面積は約463ha（田293ha 畑170ha）。
- 認定農業者は14、認定農業者など担い手への集積面積は55ha（12%）である。
- 高齢化による耕作放棄や担い手に集積できない条件の悪い農地などで遊休農地が増加傾向にあり、営農再開や遊休農地発生防止の意識向上につながる取り組みが必要である。

取組内容

- 農業委員14名、農地利用最適化推進委員2名が率先して遊休農地解消。（30年4月）
- 解消後の農地で町特産のカボチャ（品種：ロロン、栗将軍）を生産。（30年5月22日）
 - ・農業委員会、JA、とみか保育園（年中組55名）で苗（50株ずつ）の定植
- 農業委員会委員による栽培管理、受粉・交配作業。（30年5～7月）
- 収穫作業（30年7月23日）
 - ・カボチャ100個ほどを収穫

今後の展開と方向性

- 農業委員会委員が率先して遊休農地を耕作し、町内の農家へ発信し遊休農地発生防止や営農再開の意識を高めていく。
- 耕作に使われていなかった遊休農地が、食農教育の場になるなど多様な活用を検討し、農地利用の最適化推進を加速させていく。

